

令和6年度 第2回神栖市学校二学期制検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年2月13日(木) 15:30~16:30

2 場 所 神栖市役所 分庁舎2階 会議室1

3 出席者 委員長 多辺田弘之:市校長会代表

副委員長 佐々木 仁:市副校長・教頭会代表

委 員 稲垣 幸子:幼稚園 PTA 代表

田邊 明:小学校 PTA 代表

伊東和可奈:中学校 PTA 代表

保立 純子:教育委員会学務課長

(事務局)羽石 哲也:学務課課長補佐

長末 憲子:教育指導課指導主事

川島友美子:教育指導課指導主事

川原 達也:小学校 PTA 代表

石川 伸也:中学校 PTA 代表

新井 崇人:教育委員会教育部長

大槻 憲永:教育委員会教育指導課長

伊奈 大輔:教育指導課課長補佐

増田 満彦:教育指導課指導主事

欠席者 なし

4 議 事

1. 委員長挨拶

2. 協議(多辺田委員長が議事を進行)

前回、保護者向けに実施したアンケートでは、学期制の変更について、二学期制・三学期制のメリット・デメリットがわからずに「どちらでもよい」と回答した保護者が多く、保護者にメリット・デメリットを示したうえで、再度アンケートを実施するのが望ましい、との結論になった。今回は、アンケートの際に提示する二学期制・三学期制のメリット・デメリットについて、ご意見をいただきたい。

①事務局から

○教職員からあったメリット・デメリットについての意見

(二学期制のメリットについて)

- ・授業の中断が少なくなるため、深い理解や継続的な学びが促進される
- ・学期末の評価や行事が少ないため、学期末に集中する負担が軽減される
- ・評価の回数が減少するため、授業の準備や個別指導に多くの時間を費やすことができる

(二学期制のデメリットについて)

- ・長期間の学期中に児童生徒の集中力を維持させることが課題
- ・二学期制への変更によって一時的な混乱があり得る
- ・評価の機会が減るため、生徒の学習状況を細かく確認するのが難しくなる

(三学期制のメリット)

- ・児童生徒の集中力が維持されやすく、学習効果が高まる傾向がある
- ・学期ごとに定期テストによる評価があるため、学習状況を定期的に把握しやすい
- ・各学期ごとに目標を設定しやすく、計画的な学習が促進することができる

(三学期制のデメリット)

- ・短い学期間で集中して学習や行事が行われるため、児童生徒に負担が大きい
- ・評価の回数が多いため、教職員の業務負担がある

②委員の方よりご意見

- 二学期制とはいえ、長い夏休みをはさむので、継続性や行事が分散されるイメージがつかみづらい。
- 二学期制では、評価について長期間で見ることが増えるので、自分の子どもがどこを見てもらっているのか不安がある。また、教職員の成績業務の軽減というが、かえって大変になるのではないかな。
- 三学期制では、学期末の区切りで学習が駆け足になっていたようだが、二学期制では、夏休み後にも継続して学習できるメリットがあると思う。また、夏休み明けに評価があるので、緊張感を持った夏休みを送らせることができるのではないかな。

- 幼稚園は評価などはありませんが、二学期制にするのですか？

→ (学務課長) 幼稚園の二学期制は話題になっていませんので、このまま三学期制の予定です。

- 小学校の場合、高学年は二学期制のほうが良いと思うが、低学年には不向きだと思う。学年によって、学期制を変えることは可能なのか。
- 通知表の所見欄がなくなったり、部活動の地域移行によって、現状でも先生方の負担は減っているのではないかな。
- 始業式などを減らせるのは、少しでもプラスになるのではないかな。授業時間が足りずに夏休みでも学校に通っている(※)場合もあるので、夏休みは割り切って休めるようにする方がよい。

(※教育指導課長より補足)

10年程前に、県の学力向上事業として、小学校高学年の夏休み初めの1週間程度、学校で補充学習を補う目的で行っていた経緯があり、今でも継続している学校がある。また、学校によっては、夏休みに地域住民との体験活動的な取り組みをしている学校がある。

- 今年度から二学期制の鹿嶋市在住者に聞いたが、あまり変わらないという声がほとんどのようだ。教職員の負荷が軽減されることによって、より質の良い授業や違った形の授業に取り組める機会ではないかな。デメリットはあるかもしれないが、やってみないとわからない。
- 長い期間で評価されると、児童生徒はどこが得意でどこが苦手かわかりづらくなってしまうのではないかな。

→ (多辺田委員長) 学校では、定期テストのほかに単元テストのようなものも合わせて評価に加味しています。

- 小学校にも教科担任が取り入れられ、教職員の授業準備も軽減されており、子どもたちも中学校との継続を考えても、やりやすくなっているようだ。

- 二学期制になると、中学生とその保護者は、高校入試で提出される調査書の成績はどこになるか不安なのではないか。
- 二学期制になることで何を目標しているのかを示したうえでアンケートをとったほうがよい。
- 先生が自席で紙に向かっている時間よりも、子どもたちに意識を向けている時間が少しでも長くなるのであれば、そのほうが良いと思う。そのために二学期制を導入しようというのであれば、それをわかりやすく保護者にお伝えしてあげた方が賛同を得られやすいと思う。
- 授業時間の短縮、平日の行事など変化が大きい時期、難しい時期だと思う。

3. その他

- ・令和7年度第1回の検討委員会は、令和7年5月を予定
- ・その後は7月に委員会、8月に答申を予定しています。